

日本共産党葛飾区議会議員団

きむら



木村ひでこ

事務所 葛飾区青戸5-27-5
Tel: 03-3690-8631 携帯090-8640-5378

2021年
10月号
No.55



選択的夫婦別姓制度の法制化 の議論を求める意見書

選択的夫婦別姓についての意見書
が賛成多数で採択されました。

意見書は、国連の女子差別撤廃委員会が日本政府に対し、
選択的夫婦別姓のために民法改正を勧告していること、最
高裁判決も国会議論を求めています、進んでいないこと
から国会での議論を求めるものです。

この意見書には、鈴木議員（無所属）のみ反対しました。

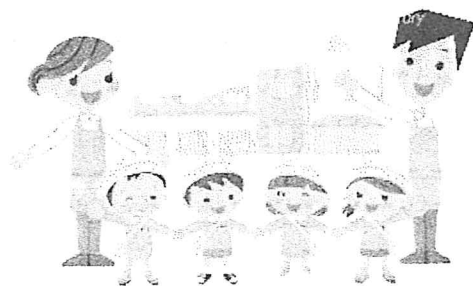
新型コロナウイルス感染症生活困窮者 自立支援金の支給について

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請
期間を令和3年11月30日（消印有効）まで延長します。

電話番号：03-4564-3340

受付時間：8：30～17：00（平日のみ）

生活・法律相談
毎月第一水曜日 18:30～ 木村ひでこ事務所にて
木村ひでこ事務所若しくは携帯にお電話下さい。



待機児童数の実態を 正しく把握すべき

葛飾区では、今年度4月1日
時点で待機児ゼロになった言
っています。本当にそう言い
切れるのでしょうか。

年度初めの待機児童数がゼロであっても、10月過ぎには待機
児童数が増えています。また、自分の希望する保育園にはいる
ことができず、やむを得ず無認可などにはいった方は、待機
児に入らず区は実態をきちんと把握されていません。

決算審査意見書では、「必要とする時に待たずに入園できる
環境を整え、定員の確保に努めることが重要である」と指摘も
されています。

いわゆる、隠れ待機児に関しても誤魔化さないできちんと対
応をすべきです。

安心・安全な保育を 自治体が責任を持つべき

区が6月に策定した今後10年間の計画「基本計画」は重点事
業を示したものです。今回の基本計画では、前計画にあった
「待機児ゼロ」が削除されています。

基本計画から待機児童ゼロを削除した青木区政、保育に関して
も自己責任を押し付ける無責任極まりないもの他です。

自治体として、安心・安全な保育のために、保育士の処遇改
善とともに、待機児童についても重要課題としてとらえなくて
はなりません。

決算審査特別委員会で質問しました（一部）



学校のトイレに、トイレットペーパーと同じように、あたり前に生理用品があれば

区内の小・中学校の保健室に生理用品が常備されています。教育委員会は保健室なら相談につながれるという考えて、トイレに生理用品を置くことを拒み続けています。しかし、3ヶ月間で小学校130人、中学校220人に配布しましたが、相談につながったのは小学生1件だけでした。

子ども自身が誰かに相談をするのは、そう簡単ではありません。保健室に行けばもらえるかも知れないが、はずかしい、嫌な思いがするからもらいに行かない、行きづらいなど聞かれます。困っている子どもに、そっさと手をさしのべることが大切なのです。

子どもたちが、安心して学べる環境をつくるためにも、児童・生徒のプライバシーや尊厳を保障するためにも、学校のトイレにあたり前に生理用品がある、そのようにすべきです。

高齢者のインフルエンザの予防注射費用を助成すべき

今年度は、子どものインフルエンザは生後6ヶ月から15歳まで1回につき助成額が1000円となっています。

高齢者は、昨年度は、65歳以上のうち約7割強の方が無料でインフルエンザ接種を行っています。

今年度は助成されませんが、普通感冒も流行性感冒も新型コロナウイルス感染症も原因や症状が似ており、見分けがわからないとされています。感染予防、感染拡大防止の上でも重要です。新型コロナウイルスに対しても同じことが言えます。

高齢者のインフルエンザ予防注射接種の助成をすべきです。



特別養護老人ホームの整備計画を明確にすべき

特養ホーム入所申し込み者数が、毎年1000人を越えているのに、高齢者保健福祉計画には、特養ホームの整備計画がありません。

医療的ケアが必要とされている方、ひとり暮らし世帯や老老介護などの世帯が更に増加しており、必要性の高い方がより早く入所することができるようにすべきです。

また、特養ホームの施設入居者の食事・居住費が8月から改悪され、月2万円～7万円の負担増となりました。特養ホームは167床空いています。身近な自治体として利用料の軽減を考えていくべきです。

熱中症予防対策としてエアコン設置助成をすべき

猛暑の中、熱中症予防に欠かせないのが、エアコンをうまく使うことです。しかし、生活保護を利用する世帯は、新たにエアコン設置をする場合に限り助成されますが、既存のものが壊れた場合は、社会福祉協議会から、お金を借りるか、自分でお金を貯めて何とかしなくてははいけません。

熱中症事故を防ぐ上でも、命を守る上でもエアコン助成があれば、たとえ限定的であっても後押しになります。エアコンの助成をすべきと強く求めました。

